

博物館だより

2013年 春号

| 葛飾区郷土と天文の博物館 | Katsushika City Museum

No.

1 0 6

こだわりのプラネタリウム

あちこちのプラネタリウムをご覧になっていらっしゃるお客様ほど、こうおっしゃってくださいます。
「郷土と天文の博物館のプラネタリウムは、他とは違う。」
いったいどう違うのかでしょうか。当館のプラネタリウムの『こだわり』をご紹介します。

★オリジナルへのこだわり

プラネタリウムの番組は、全てオリジナルです。市販の映像作品を買って上映することは、まずありません。
番組の企画・選曲・映像制作・プログラミング・シナリオ制作は全て、スタッフが中心になって行なっています。
どうしてオリジナルなのか。それは、自分たちで作った方が、お客様に喜んでいただける質の高い番組を提供することができるし、お客様の意見をフィードバックし、さらに番組を成長させることができるから。そして、『ここでしかできない体験』を提供することができるからです。

★生解説へのこだわり

プラネタリウム番組は、これも番組の一部分を除き、全て生解説です。星空案内はもちろんのこと、番組の最初から最後までを、生で解説します。
ドームの中に解説者がいることで、場内のお客様との一体感が生まれ、それが『作品を見るだけでは感じられない臨場感が生まれるのだと考えています。それに、星のことを知らないナレーターが読み上げたところで、星の本当の魅力は伝わらないし、説得力もありません。

同じ番組でも、解説者によって大きく変わります。同じ解説者でも、その時の会場の雰囲気によって解説は変わります。ぜひ、何度もお楽しみください。



★『リアルタイム方式』へのこだわり

プラネタリウムの映像の大半は、デジタルプラネタリウムシステムが高度な天文シミュレーションをしながらその瞬間に描画する『リアルタイム方式』の映像をご覧いただけます。しかし、この方式を取るプラネタリウムは非常に少なく、多くの館は、既成の『ドーム映画』を上映しているだけ。本当の意味での『プラネタリウム番組』ではありません。
リアルタイム方式の番組を作るために、デジタルプラネタリウムが本来表現できる機能を最大限に活かしたプログラミング技術、映像制作技術を常に磨いています。

★音へのこだわり

普通のプラネタリウム番組なら、サウンドトラックはスタジオで録音しておしまいますが、もうひと手間かけて、音の最終的な仕上げはドームの中で行ないます。
スタジオで『いい音』でも、ドームの中で『いい音』でなければ意味がありません。実際に再生されるスピーカーでとことん調整して、初めて『いい音』になるのだと考えています。

海外から入手した新しいデータや映像を先駆けて活用したり、オリジナルのデータや映像素材を作ったり、番組を分岐したり組み換えたりできる新しいスタイルの番組を制作したり…。これまでも、これからも、日本のデジタルプラネタリウムの最先端を走り続けていきます。

★先駆者としてのこだわり

平成19年、日本で初めて『宇宙の果てまで体験できるデジタルプラネタリウム』を導入してから、デジタルプラネタリウムの先駆者として常にプラネタリウムの新しい可能性を切り拓いていきました。



新番組

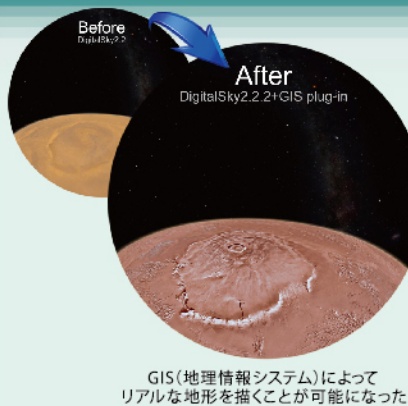


『マーズ・エクスプローラー』に込められたこだわり

4月19日まで上映中の季節の番組『マーズ・エクスプローラー』は、火星の大地をめぐる。でも、数多くのこだわりが込められています。
デジタルプラネタリウム用GIS（地理情報システム）データセットを先駆けて導入。これまでのプラネタリウムでは表現できなかった、地球や火星のリアルな地形がドームいっぱい広がります。

さらに、NASAが制作した火星探査機のプラネタリウム用映像も日本初公開。番組の一部は、いくつものバリエーションがあって、その時々で変わります。
当館のこだわりが詰まった新番組を、ぜひお楽しみください。

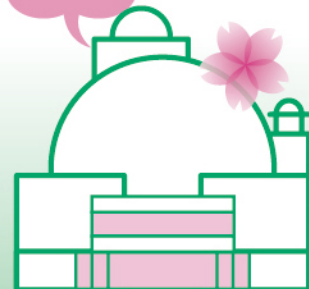
当館のこだわりが詰まった新番組を、ぜひお楽しみください。



GIS(地理情報システム)によってリアルな地形を描くことが可能になった

ボランティアとして 様々なイベントで活躍してみませんか？

Museum
Volunteer



葛飾区郷土と天文の博物館では、多くの方が当館を舞台にボランティアとして活躍しています。様々な体験や出会い、発見があなたを待っています。一緒に活動を楽しみませんか？

農業体験ボランティア

「田んぼサポーター」会員募集中！

「田んぼジュニア」などの小・中学生とその家族が参加する農業体験講座の指導や、稲作・畑作・味噌作り、竹林の整備、竹細工などの他、祭など村の行事を楽しんだり、古民家に宿泊するなどゆつたりとした農村生活を満喫します。

茨城県つくばみらい市の農家の方々を中心とするNPO法人「古瀬の自然と文化を守る会」より、直接農作物栽培の指導を受けることができます。

- 内容** 稲作・畑作などの農作業。ビオトープの整備。竹林の間伐。小・中学生の体験学習の指導など。
- 日時** 平成25年4月より土日を中心月に2回程度。すべてに参加できなくてもかまいません。
- 対象** 中学生以上の方。知識や経験は問いません。
- 費用** 年会費3000円
- 会場** 当館、つくばみらい市寺畑、筒戸地区の農家、農地。
- 持ち物** 農作業が出来る服装、長靴など
- 申込方法** 往復はがき
- キーワード** 「田んぼサポーター」
- 申込締切** 年間を通じていつでも募集を受け付けています。

考古学ボランティア

「葛飾考古学クラブ」会員募集中！

発掘調査や地域史研究、収蔵資料の整理や展示などの博物館活動に参加しながら郷土の歴史を学んでみませんか。

- 対象** どなたでも。ただし4・5月に実施する10回の講習会のうち、4回以上参加すること。
- 会場** 当館、館外
- 申込方法** 電子申請、往復はがき
- キーワード** 「考古学ボランティア」
- 申込締切** 平成25年3月30日(土)必着
- 説明会** ※応募された方には資料を送付します。詳細は「葛飾区遺跡報告会」の中でも説明します。入会を検討されている方は、是非ご参加ください。

「葛飾区遺跡報告会」

平成24年に区内で実施された遺跡調査の結果と活動成果を報告します。

- 日時** 平成25年3月24日(日) 午前10時～11時30分(開場は9時30分)
- 対象** どなたでも
- 定員** 80名(応募者多数の場合、抽選)
- 費用** 入館料(大人100円、小・中学生50円)
- 会場** 当館講堂
- 申込** 不要。当日直接会場へお越しください。



天文ボランティア

「かつしか星空散歩」などの観望会、「かつしか宙トーク」などの講座を博物館とともに運営しています。「天文の知識はないんだけど…」という方でも大丈夫。星への好奇心と、活動への意欲さえあれば十分です。

平成25年度活動のボランティア募集は終了しました。毎年1月頃に募集しています。詳細は博物館のホームページをご覧ください。

「かつしか宙トーク」

”もつ”宇宙と星空を楽しもう！を合言葉に、毎回様々なテーマや切り口で星と天文のトークをお届けしています。

- 日時** 毎月第2土曜日 午後6時～7時
- 対象** どなたでも
- 費用** 入館料(大人100円、土曜日につき中学生以下無料)
- 会場** 当館講堂
- 申込** 不要。入退場も自由。当日直接会場へお越しください。



その他・展示の紹介

「葛飾酒作り本舗」会員募集中！

酒造好適米「美山錦」を使った、本格的な日本酒造りを酒米作りから学びます。米作り、酒造りは自然に恵まれた福島県東白川郡塙町、矢祭町で行います。

会員には各年度出来上がった日本酒を2本(4合瓶)進呈します。

- 内容** 酒米の種まき、田植え、稲刈り、里山の整備、畜産農家の支援、日本酒の仕込み体験など
- 日時** 平成25年4月より土日を中心月に1回程度。すべてに参加できなくてもかまいません。
- 対象** 当館で1カ月に1回程度日本酒に関する勉強会があります。どなたでも。未成年でも参加できます。
- 費用** 年会費5000円。福島県への交通費、宿泊費は別途自己負担。各回14000円程度。
- 会場** 当館、福島県東白川郡塙町那倉地区、矢祭町藤井酒造店
- 申込方法** 往復はがき
- キーワード** 「葛飾酒作り本舗」
- 申込締切** 年間を通じていつでも募集を受け付けています。



「葛飾探検団」会員募集中！

葛飾やその周辺をフィールドとして、住宅・店舗・工場などの建物や産業、川・道・路傍の碑・寺社などを訪ねながら、近代以降の葛飾の暮らしや文化がどのように変わったかを調査・記録します。

また、調査研究や展示などの博物館活動に参加しながら郷土の歴史を学びます。

- 対象** どなたでも
- 費用** 無料(移動時の交通費等は実費負担)
- 会場** 当館、館外
- 申込方法** 電子申請、往復はがき
- キーワード** 「葛飾探検団」
- 申込締切** 平成25年3月30日(土)必着
- 説明会** ※応募された方には資料を送付します。詳細は「葛飾探検団報告会」の中でも説明します。入会を検討されている方は、是非ご参加ください。
- 日時** △日時▽平成25年3月10日(日) 午後1時～
- 会場** △場所▽当館講堂



葛飾写真館「かつしか昭和の風景」写真展

葛飾探検団が収集した昭和期の葛飾の風景や暮らしぶりを物語る写真を展示します。

写真に記録された「かつしか昭和の風景」をお楽しみください。

- 日時** 平成25年3月10日(日)～平成25年5月11日(土)
- 休館日** 月曜(祝日の場合は開館)と第2・4火曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)
- 費用** 入館料(大人100円、小・中学生50円全曜日は無料、幼児無料)
- 会場** 当館 特別企画展示室

お申し込みについて

◆往復ハガキでのお申込み

参加される方全員の住所・氏名・年齢・学年・電話番号と、それぞれのキーワードを書いて、申込み締切日必着、までにご送付ください。

宛先 〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1 葛飾区郷土と天文の博物館

◆電子申請(インターネット)でのお申込み

当館のWebサイトからお申し込みください。

当館Webサイト <http://www.museum.city.katsushika.lg.jp/>

※電子申請はイベントが区の広報誌に掲載してから利用開始となる為、Webサイトに掲載が未掲載の場合がございます。往復ハガキをご利用いただくか後日あらためてご利用ください。

葛飾区郷土と天文の博物館ご利用案内

開館時間

午前9時～午後5時

(金・土曜日は午後9時まで開館。ただし金・土曜日が祝日の場合、午後5時に閉館。入館は閉館の30分前まで)

休館日

月曜日、第2・4火曜日

(月曜祝日は開館。火曜祝日は開館し翌日休館)

入館料

大人 100円 小・中学生 50円 小学生未満無料

(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)

プラネタリウム観覧料

大人 350円 小・中学生 100円 小学生未満 50円

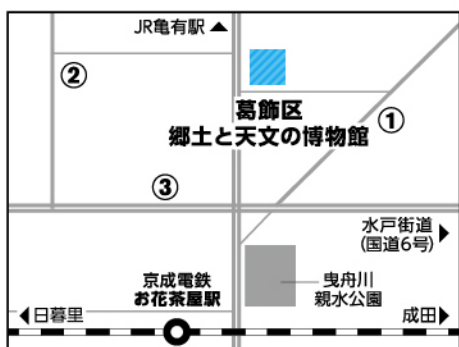
(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)

年間パスポート

大人 2000円 中学生以下 700円

購入から1年間、入館とプラネタリウムが見放題になる大変お得なパスポートです。購入時にご希望があれば、当館からのおたよりを1年間お送りします。

アクセス



電車 京成線「お花茶屋」駅から徒歩8分

- バス**
- ① 「レインボーかつしか」(有71・有72系統)または京成タウンバス(有70系統)で「白鳥わかば公園」バス停下車 徒歩3分
 - ② 京成タウンバス(有57系統)で「上千葉小学校」バス停下車 徒歩5分
 - ③ 京成タウンバス(有57系統)で「共栄学園」バス停下車 徒歩5分

博物館だより

発行

葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063

東京都葛飾区白鳥3-25-1

電話：03-3838-1101

FAX：03-5680-0849

Web：http://www.museum.city.katsushika.lg.jp/